

今・何故・航行ガイド

◆インナーハーバーはシーカヤックニーズが高い

◆インナーハーバーは経済活動水域

◆シーカヤックは「海からの目線」で、都市や環境を考えると、有効な手段

◆平穏な海だが、船舶が錯綜しビル風もある

◆楽しく、安全に航行するための“決め”が必要

ガイドの性格

◆関係者が自主的に定めた行動規範

◆インナーハーバーで事業者と市民利用者が共生する都市型港湾利用のモデル

基本指針

1 利用原則

- ◇事業者の協力を理解 ◇法令やガイドの遵守 ◇他の船舶を優先
- ◇技術習得に努力 ◇事前準備の徹底 ◇シーマンシップの発揮

2 法令等の遵守

- ◇海上衝突予防法、海洋法を理解する

3 注意事項

- ①原則右端航行、安全確保のため、左端・陸側航行もある
- ②他の船舶の航行を優先、グループの場合は注意を喚起
- ③進路と周辺に注意
- ④グループ時は船団として1～2列縦隊・航路横断は一斉
- ⑤交差部は減速 ⑥1mの橙フラッグを用意
- ⑦護岸は素手で触らない ⑧日の出前、日没後は航行しない
- ⑨PDFの装着 ⑩ゴミの持帰り ⑪決められた場所での乗降

4 漕ぎ手の心構え

- ①安全性を優先 ②服装に注意 ③しっかりした装備
- ④悪天候の場合は中止 ⑤健康管理 ⑥危険時は沈着冷静

モデルコースにおける航行ガイド

【自動車～郵船プール～象の鼻】

- ◆自動車1号橋梁：航路を航行
- ◆港3号橋梁：ピア運河パークを迂回
- ◆ピア日本丸メモリアルパーク

項目	留意点
日本丸パーク	遊覧船に注意
屋形船係留場所	出船・帰船に注意
象の鼻パーク	中に入らない
横浜港ポートパーク	黄色ブイの中に入らない
停船海域	釣り人に注意

【大岡川河口～弁天橋～蒔田公園】

項目	留意点
大岡川係留桟橋	出入船に注意
動力船の航行	避ける
象の鼻パーク	中に入らない
その他	釣り人に注意 Y校ボート部の練習に注意

今後の課題

◆内容の見直しと充実

◆航行ガイドの周知

◆利用しやすい法適用等の研究

◆乗降場所の整備